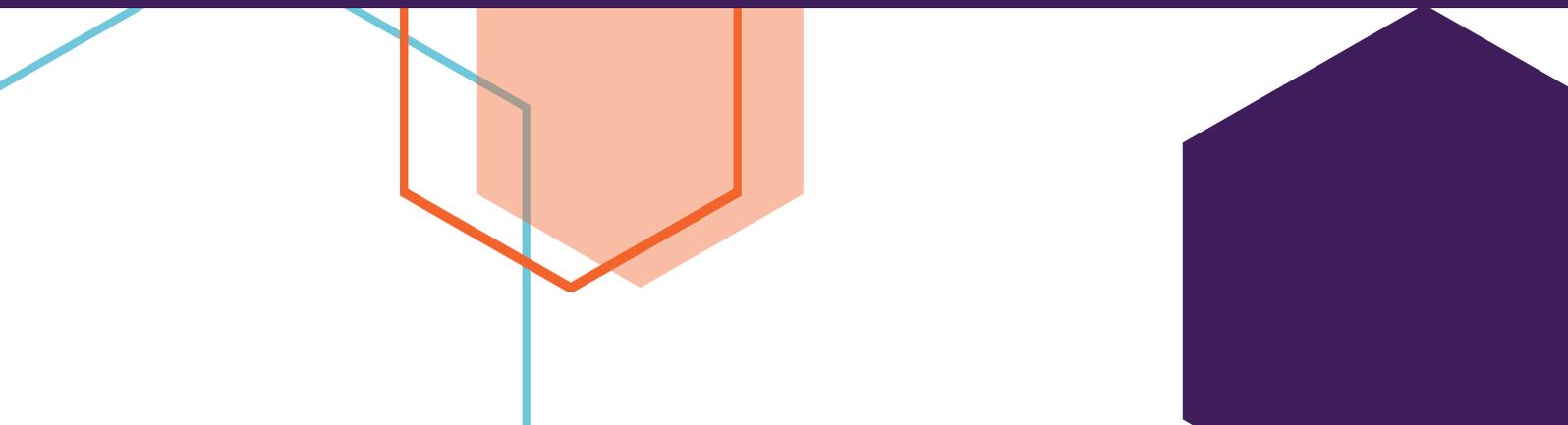




第2層協議体

ミニふれあい会議 ～買い物支援～

七次台小学校区



第 2 層協議体

きっかけ

ボランティアセンターに、西白井四丁目に住む土谷千香子氏から電話があり。有償で買い物支援ボランティアを、居住地域で活動したいとの希望聞かれる。まずは、直接お会いしてニーズの聞き取りを行うこととなる。

第 1 回会議は

〈日 時〉 令和 3 年 9 月 9 日 (木) 14:00～

〈場 所〉 団体活動室 1

〈参加者〉 土谷千香子 SC: 秋本 実松 市村 中田

〈内容〉

【本人の希望】

- ・個人での活動をしたい。
- ・有償で活動したい。
- ・居住地域で活動したい。



すでに現在、近隣に住む高齢者の買い物代行をしている。その暮らしているが、自身でも買い物へ行っている。買い物の荷物を大変と聞き、活動を始めました。利用者さんとも話し、一回 1000 円で活動しています。そういった方が他にもいるのではないかと考えています。他にも困っている方がいるのであれば、力になりたいと考えています。

【コーディネーターより】

個人での活動は、保険に加入できません。活動時に何かあったさいが心配です。団体登録して活動することや、あらたに団体を立ち上げて活動することをお勧めします。検討してみてください。
今後も、直接お会いして打ち合わせをしたり、メールなどで情報交換していきましょう。

CS の動きや考え方、他の連携

個人の考えや思いを伺い、尊重できるように関わりを持つよう配慮する。

本人のペースに合わせ、活動に困った時などに相談できるようにしておく。



・第2回会議は

〈日 時〉令和3年9月28日（火）

〈場 所〉相談室 3

〈参加者〉土谷千香子 SC：秋本 実松 中田

〈内 容〉

活動場所の確認。

百合ヶ丘自治会・野口自治会・七次台3丁目自治会・七次台4丁目自治会・七次自治会

16号より南の富塚のあたり

土谷氏より

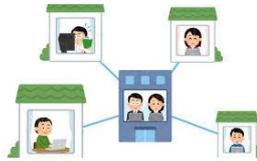
七次台地区社協の松井会長に相談したところ、地区社協定例会で買い物支援の話をして協力を仰ぎ、地区社協の事業として進めてみてはどうかと。10月4日の地区社協定例会にて議題としてあげ、活動への理解および協力をお願いすることになる。

・第3回会議は（地区社協定例会）

〈日 時〉令和3年10月4日（月）

〈場 所〉ZOOM

〈参加者〉土谷千香子 松井会長 推進委員4名 SC：実松 中田



〈内 容〉

活動説明と協力依頼。

→理解をいただき、協力をしていただけることになる。

〈定例会での意見〉

個人での活動より、地区社協の事業とし活動した方が、信頼度も高いのでは。また、ニーズがあるのか事前調査も必要では。担当している地区で対象となりそうな方にリーフレットを配布してもいいのでは。と、さまざまな意見がでました。

・第4回会議は（地区社協定例会）

〈日 時〉令和4年2月8日（火）

〈場 所〉ZOOM

〈参加者〉土谷千香子 松井会長 推進委員3名 SC：実松

西白井コミュニティプラザにて、コープみらい主催の集いが開催。新しい担い手探しのためにも、参加してみても？とお声掛け。

活動希望エリアの民生委員へ協力依頼をしてみよう！

富塚地区の民生委員へ協力依頼する。
→忙しいとのことで協力は難しいと…。

定例会と一緒に参加し、土谷氏のフォローができるようにしましょう！

西白井コミュニティプラザにて、コープみらい主催の集いが開催。新しい担い手探しのためにも、参加してみても？とお声掛け。

地区社協より、SC参加の希望があり、出席する。



〈内容〉

買い物支援を、次年度の七次台地区社協の事業計画にあげるかどうかについて。

〈土谷氏より説明〉

以前、推進員をしていた所氏と買い物支援についてお話をしました。所氏は、自分のできることを買い物支援で行おうと考えていたと伺いました。

ニーズ調査して分かったことは、色々なニーズがあり、全てのニーズに対応することは難しいと感じました。所氏と話をして、自分でできる範囲で活動をすればいいのだと感じました。利用料金については、やはり無償ではなく有償で活動できればと考えていま

す。

〈定例会での意見〉

会長

来年度の事業計画に買い物支援をいれることについて、皆さまより意見を伺います。

→反対意見はないようなので、事業計画に盛り込んでいけたらと思います。

利用料についての意見は？

→今まで、地区社協の活動では利用料をとったことはありません。必要な経費は、いただいてもいいかと思います。

有償の活動の場合、保険は？

SC：実松

地区社協で加入している行事保険では、有償活動の対象にはなりません。福祉サービス総合補償に加入して頂く必要があります。保険の内容についての冊子は、後日地区社協にお届けします。

会長

新たに活動するために必要であれば加入を検討すればいいと思います。現段階

CSの動きや考え方、他の連携

必要な情報提供およびアドバイスをを行う。

第2層協議体

第5回会議は

<日時> 令和4年2月18日(金) 10:00~11:30

<場所> 団体活動室3

<参加者> 土谷千香子 高田夕子 SC: 実松・中田

<内容> 七次台地区社協の事業としての買い物支援の進め方と活動保険について

・活動費について

①地域ぐるみネットワーク ふれあい会議 実践活動費

2年間、3万円の支給あり。この活動費を利用して試行してみる。

②高齢者福祉課 助け合い活動補助金

③地区社協の予算での活動

→どの活動費を利用して、買い物支援をおこなうかどうかの検討が必要となります。

・活動保険について

①現在、地区社協で加入している保険についての確認。

②買い物支援活動のために、新たな保険に加入する必要があるか検討。

加入可能な保険

→福祉サービス総合補償

・活動費や保険について、会長に相談しながら次回の定例会にて検討していただくこととなる。

・買い物支援の進め方について

→土屋氏が現状個人的に数件買い物代行をしている。



事業化になっても…
出来る活動を出来る範囲で
進めて下さい。

CSの動きや考え方、他の
連携

七次台社協の加入している保険がどうい
う保障があるのか調べて
みてはどうか

高齢者の生活
支援ボランティア
のちよい困サポ
ーター養成講座
に参加を呼びか



きっかけ

西部民児協定例会にて助け合い活動についての勉強会を実施した。

その際に、七次台地区民生委員の佐藤氏より、下記の旨のご意見をいただいた。

“自分の知っている人でもたくさん買い物に困っている人はいる。買い物は代行という手段もあるが人によっては自分で選べる物や人を買ってもらいたくないもの（尿取りパッドや生活用品など）もあり、自分で買い物をする必要がある。そして、交流の場を求めている人もたくさんいる。行政でバスを出して乗り合い式にしてドラッグストアやスーパーを回って交流しながら買い物ツアーを開催するのはどうか？”



・後日

佐藤氏へ連絡。佐藤氏が知っている買い物支援が必要な方へ対する支援のためにニーズの聞き取りをおこなった。

- 体力が落ちてしまっても、自分の目で見て選んだものを買いたい
 - コロナ禍で近所の交流も減ってしまったため、バスの中でおしゃべりし交流を兼ねた買い物支援ができることが地域住民にとっては望ましい
- 買い物支援グループでは誰が中心となり、どの範囲で行うのか、SCの車両探すと並行して検討していただくこととした。



展開

車両の貸出（運転手つき）→ デイサービス おてたま

が、最も前向きに検討してくださっていた。話が具体的になれば買い物支援グループとの話し合いに参加していただきながら協力をあおぐこととした。

CSの動きや考え方、他の連携

実際に困っている人がいることがわかり、SCとしては早急に団体の立ち上げを含めた対応しなくてはならないと考えた。

買い物支援グループ立ち上げの相談にあたり、SCが並行して車両の貸出や運転に協力していただける事業所を探す必要がある。

以前から買い物支援の相談を継続している、七次台小地区社協の土谷会長へ買い物支援団体立ち上げに向けた展開があることをお伝えし、佐藤氏と話し合い協力いただきたい旨をお伝えした。

発起人の佐藤氏の体調不良により、以降の展開なし。

他の人が中心となることはできないかなど対応を考えていく。

第 2 層協議体

